

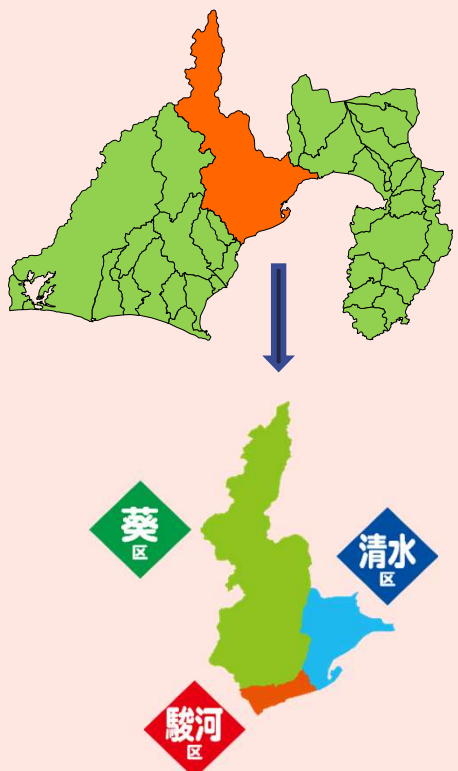
# 静岡市

## 入院医療中心から地域生活中心へ

静岡市では、精神障害にも対応した構築支援事業を取り組むにあたり、医療と福祉、行政が連携した地域移行支援体制の構築に取り組んでいます。  
また、地域移行の推進に係る課題や手法など官民協働で協議を行っています。

## 1 県又は政令市・特別区の基礎情報

### 静岡市



### 取組内容

・静岡市はH17.4に14番目の政令指定都市となりました。葵区、駿河区、清水区の3区に分かれていますが、静岡市として統一した支援が行えるよう、協議の場は市に1か所となっています。

### 基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R6年12月時点）	1	か所	
市町村数（R6年12月時点）	1	市町村	
人口（R6年11月時点）	680,913	人	
精神科病院の数（R6年12月時点）	7	病院	
精神科病床数（R6年12月時点）	961	床	
入院精神障害者数 （R5年6月時点）	合計 710	人	
	3か月未満（％：構成割合） 195	人	
	27.5	％	
	3か月以上1年未満 （％：構成割合） 107	人	
	15.1	％	
	1年以上（％：構成割合） 408	人	
	57.5	％	
	うち65歳未満 183	人	
	うち65歳以上 225	人	
退院率（R5年3月時点）	入院後3か月時点	81.0	％
	入院後6か月時点	85.1	％
	入院後1年時点	97.2	％
相談支援事業所数 （R6年11月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所
	一般相談支援事業所数	16	か所
	特定相談支援事業所数	57	か所
保健所数（R6年12月時点）	1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度（R6年度）	（自立支援）協議会の開催頻度 精神領域に関する議論を行う部会の有無	2 有	回/年
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R6年12月時点）	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	か所/障害圏域数
	市町村	有	1 / 1 か所/市町村数

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

次ページに静岡市における1人の精神障害者の地域生活支援体制整備イメージを記載しています。静岡市では退院のことだけではなく、救急医療等含めた入院医療中心から地域生活中心へと大きな流れの中で、平成25年度からの第6次の医療計画において、新たに精神疾患が追加され、5疾病5事業として精神科医療連携体制構築が進められてきています。その中で、本市として、市が取り組む「対策」、その「対象」、そしてSTEP1・STEP2と段階を経たうえでの「精神障害にも対応可能な地域サポートシステムの構築」を進めていくという体制イメージになります。

地域移行支援部会ワーキンググループでは、主に長期入院患者さんを対象に入院から退院後、その後の支援も受けられるよう取り組んでいます。

成果目標	対策	対象	協議の場
<p>精神病床から退院後 1年以内の地域における 平均生活日数 <b>332日以上</b></p> <p>精神科病床における 1年以上長期入院者 数の減少 <b>65歳未満:186人</b> <b>65歳以上:234人</b></p> <p>精神病床の退院率 <b>3か月後 79.3%</b> <b>6か月後 86.0%</b> <b>1年後 92.0%</b></p>	<b>1.地域精神保健</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民、民生委員等</li> <li>医療従事者、福祉、介護支援者等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉審議会</li> <li>精神障害者地域連携協議会（代表者会議・実務者会議）</li> </ul>
	(1)地域住民への普及啓発		
	(2)各専門職の人材育成		
	(3)アウトリーチ支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>中重度精神障害者</li> <li>治療中断者、未治療者、身体合併症者</li> <li>精神科病院、精神科診療所、警察署、検察、行政機関</li> <li>ピアサポーター</li> </ul>	
	<b>2.地域精神医療</b>		
	(1)精神科救急システムの体制整備		
	(2)措置入院の適正な運用		
	(3)措置入院者の退院後支援		
	(4)多様な精神疾患への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健医療、一般医療、障害福祉、介護等の関係者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者自立支援協議会</li> <li>地域移行支援部会</li> <li>ワーキンググループ</li> </ul>
	(5)入院者訪問支援		
	<b>3 保健・医療・福祉の連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期入院者</li> <li>治療中断者、未治療者（ひきこもり含）、身体合併症者</li> <li>精神科医療、身体科医療、障害福祉、介護等の関係者</li> <li>ピアサポーター、家族</li> </ul>	
	(1)各関係者による重層的連携		
	<b>4.地域生活支援体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期入院者</li> <li>治療中断者、未治療者（ひきこもり含）、身体合併症者</li> <li>精神科医療、身体科医療、障害福祉、介護等の関係者</li> <li>ピアサポーター、家族</li> </ul>	
	(1)ワンストップ相談・つなぎ支援		
	(2)資源の見える化		
	(3)住まいの必要量とその確保		
(4)ニューロングステイの防止			
(5)当事者や家族のかかわり			



# 静岡市の取組

## 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの整備 **STEP 1**

### 1. 地域精神保健

地域住民への普及啓発

各専門職  
人材育成

アウトリーチ  
支援

誰もが地域で  
安心して…



住まい・生活

### 3. 保健・医療・福祉の連携

多職種他分野の重層的連携

### 2. 地域精神医療

措置入院の  
適正運用

措置入院者  
退院後支援

多様な精神  
疾患対応

精神科救急  
システム

### 4. 地域生活支援体

住まいの必  
要量とその  
確保

ニューロン  
グステイ防止

当事者・家  
族のかかわり

資源の  
見える化

ワンストップ  
相談・つなぎ  
支援

## 「地域共生社会」への実現 **STEP 2**

精神科医療  
×  
一般医療

障害福祉  
×  
高齢介護

地域の  
助け合い

属性・世代  
を問わない  
相談

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

平成19～20年度	<p>「精神障害者退院促進事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施主体：静岡県（各圏域の相談支援事業所に委託）</li> </ul> <p>「精神障害者ケースマネジメントモデル事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施主体：静岡市</li> <li>○長期入院者の退院促進と治療中断防止に関する研究事業</li> </ul>
平成21～23年度	<p>「精神障害者地域移行支援事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施主体：静岡県（各圏域の相談支援事業所に委託）</li> <li>○「精神障害者退院促進事業」から名称変更</li> </ul>
平成21年度～	<p>「精神障害者地域生活体験支援事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施主体：静岡市</li> <li>○グループホームの一室を利用して、短期間の体験宿泊を実施</li> </ul>
平成27年度～	<p>「退院支援体制確保事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施主体：静岡市</li> <li>○各行政区相談支援事業所に「退院支援専任相談員」を配置（各区1名ずつ）</li> <li>○医療・福祉・行政のつながる場「退院支援連絡会」の開催（月1回）</li> </ul>
平成28年度～	<p>「障害者自立支援協議会地域移行支援部会」、 「地域移行支援部会ワーキンググループ（退院支援連絡会から名称変更）」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施主体：静岡市</li> </ul>

# これまでの地域移行支援部会ワーキンググループ(WG)の活動内容

	活動テーマ	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
						静岡市における新型コロナウイルスの流行			
精神分野	(ニューロロギングステイ) 新たな長期入院の防止		<p>◆支援者向け施設見学ツアー 10月 社会福祉法人 参加者:23名・11機関 11月 就B、GH、相談支援事業所、地域活動支援センター 参加者:28名・9機関 1月 GH・就労継続支援事業所</p> <p>◆病院職員向け院内研修 長期入院者の退院支援意欲喚起を目的とした院内研修を開催(溝口病院、日本平病院)</p>	<p>◆支援者向け施設見学ツアー 9月 グループホーム 参加者:56名・12機関 11月 知的障がい支援施設 参加者:73名・15機関 3月 相談支援事業所、GH、就B</p> <p>◆病院職員向け院内研修 県自立支援協議会作成のDVD上映、行政説明(溝口病院、こころHP、日本平病院)</p>	<p>◆支援者向け施設見学ツアー 6月 特養・デイ・生活介護 参加者:60名・12機関 9月 グループホーム 参加者:28名・11機関</p> <p>◆病院職員向け院内研修 6月 WG内でDVD上映 9月 清水駿府病院</p>	<p>◆支援者向け施設見学ツアー 障がい者長期入所施設で開催予定であったがコロナ流行により中止</p> <p>◆病院職員向け院内研修 第一駿府病院で院内研修開催 ※市内全ての精神科病院で開催済み</p> <p>◆退院支援専門相談員PR活動 活動機会の増加のため、ポスターを作成し、市内精神科病院へ配布</p>			
	・安心できる暮らしを支える人材 ・ネットワーキングづくり、システム作り		<p>◆住宅あっせんシステム システム構築に向けて、宅建協会との調整を開始</p> <p>◆居宅介護支援事業所に対するアンケート調査の検討 精神障がい者の利用の受け入れが難しい場合があり、現状を把握するために実施</p>	<p>◆住宅あっせんシステム 不動産会社を対象に精神障がい者の利用に関するアンケート調査を実施 宅建協会との意見交換会、研修会を開催</p> <p>◆居宅介護支援事業所に対するアンケート実施 結果を地域活動支援部会に報告し、サービス利用者向けガイドブックの作成に繋げた。</p> <p>◆高齢分野との関係づくり 包括支援センターとの勉強会を駿河区事務局会議や地域包括ケア推進本部、高齢介護課と共催で開催</p>	<p>◆住宅あっせんシステム 宅建協会と協議し、システムの流れ(案)を作成した パンフレットを宅建協会が主体となり作成した。</p> <p>◆高齢分野との関係づくり 各区事務局会議にて交流講座を開催。包括等を引き、グループワークと通じた意見交換、制度の研修を行った。</p>	<p>◆住宅あっせんシステム 申請書類の見直し、支援者向けのマニュアルを作成した 宅建協会役員2名をWGに招いての意見交換</p> <p>◆高齢分野との関係づくり 駿河区でWGメンバーと包括センター長で意見交換 WGと駿河区包括で合同勉強会を開催 ケアネット協会主催の研修会にWGメンバーが講師で参加</p>	<p>◆住宅あっせんシステム 宅建協会役員との打合せ 協会員向けの研修会の調整・資料作成</p>	<p>◆住宅あっせんシステム 打合せの検討</p> <p>◆高齢分野との関係づくり 清水区でWGメンバーと清水区包括で合同勉強会を開催 葵区、駿河区地域包括支援センター長会議に出席</p> <p>◆民児協との関係づくり 駿河区民児協にWGメンバーが参加。研修、意見交換会を開催。</p>	<p>◆住宅あっせんシステム 打合せの検討</p> <p>◆高齢分野との関係づくり 市内全域を対象とした、高齢福祉分野と障害福祉分野による合同勉強会を開催</p> <p>◆民児協との関係づくり 駿河区民児協の研修へWGメンバーが参加 事例を通じたグループワーク、精神障害について講義を行った</p>
	ピアサポートづくり ピアサポート活動の地域精神保健等		<p>◆ピアサポート活動 連絡会に参加 ピアの理解促進に向けた活動</p>	<p>◆ピアサポート活動 連絡会に毎月参加</p>	<p>◆ピアサポート活動 連絡会に毎月参加</p>	<p>◆ピアサポート活動 ピアサポート勉強会を開催 フォローアップ活動はコロナで延期となった</p>	<p>◆ピアサポート活動 連絡会に参加 県との共催でピアサポーター養成研修を予定していたが、コロナで中止となった</p>	<p>◆ピアサポート活動 連絡会に参加</p>	<p>◆ピアサポート活動 連絡会に参加</p>
	地域での生活を選択肢体 制づくり		<p>◆家族会 6月WGに参加</p>	<p>◆家族会 家族会(心明会・静心会・どんぐり)茶話会に参加</p>			<p>◆家族会 家族会との意見交換会に向けた調整を行った</p>		
身体・知的								<p>身体知的グループが発足</p> <p>◆市内入所施設への事業説明 市内入所施設(9か所)へ身体・知的分野の地域移行に関する活動開始の事業説明</p>	

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和5年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度末)	具体的な成果・効果
①民児協との関係づくり	駿河区民児協の研修へワーキングメンバーが参加する	左記研修を1回開催	・事例検討を通して、精神障害に関する理解が深まった
②高齢分野との関係づくり	静岡市内にて、ワーキンググループメンバーと地域包括支援センター等と研修会を行う	左記研修を1回開催	・事例検討等を通して、障害分野、高齢分野それぞれの立場や役割等について、お互いの理解が深まった。 ・静岡市内の地域の支援者が集まることで、顔つなぎをすることができた。
③ピアサポート活動	県と共催で、ピアサポーター養成研修(基礎)を1回開催する ピアサポーター交流会のバックアップ	養成研修は1回開催 交流会:毎月1回開催	・養成研修については、来年度も開催予定 ・交流会を継続することで、ピアサポーター同士のつながりや情報共有が行えている。



5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

精神科病院に入院している方、または、障害者支援施設等に入所している方が、地域で生活するために必要となる支援体制の整備など、障がいのある方の地域移行の推進に係る課題や手法など官民協働で協議することができている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
精神科病院での長期入院者の高齢化により、高齢分野との連携が求められている。	高齢分野との研修会を開催し、互いの立場や役割を確認し、顔つなぎを行うことで、より円滑な連携体制の構築に繋げる	行政	実態把握
		医療	連携強化
		福祉	連携強化
		その他関係機関・住民等	理解促進・連携強化
地域定着に向けた取組が求められている。	ピア活動、ピアサポーターについての体制整備を行う。	行政	普及啓発
		医療	当事者への周知
		福祉	活躍の場の創出
		その他関係機関・住民等	理解促進

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (今年度末)	見込んでいる成果・効果
① 高齢分野との連携のための研修会の開催	1回	1回	静岡市内全域を対象に勉強会を開催
② ピア活動に関する勉強会の開催	1回	1回	静岡市内の支援者向けの勉強会を開催
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

### 【にも包括構築の体制】

保健・医療・福祉関係者による協議の場、普及開発、精神障がい者の住まいの確保支援、ピアサポートの活用に係る事業、措置入院者及び緊急措置入院者の退院後の医療等の継続支援に係る事業、精神医療相談に係る事業、地域包括ケアシステムの構築状況の評価に係る事業

所管部署名	所管部署における主な業務
精神保健福祉課	精神保健福祉に関すること

連携部署名	連携部署における主な業務
障害福祉企画課	障害福祉施策に関すること
こころの健康センター	精神保健福祉に関すること
区障害者支援課	障害福祉サービスに関すること

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	事業や活動についての参画があり、連携を行っている	必要に応じて連携ができている。一方、協議の場への参画はなく、連携強化が求められている。
医療	精神障がい者を地域でさせるための体制整備について協議を行っている	医師や相談員等、多職種と措置入院患者の退院後支援を行うとともに、地域の関係機関等と継続的に支援ができている。
福祉	協議の場への参画がある	精神障害分野に限らず、3障害分野からの参画があり、活発な協議を行うことができている。
その他関係機関・住民等	大学教授、法律家、入所施設管理者等が協議の場へ参画している	医療・福祉に限らず、教育、法律分野等の多分野からの参画があり、協議ができている。

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
障害者自立支援協議会地域移行支援部会	医療、福祉、介護、当事者、法律家、教育機関、行政機関	2回	保健、医療及び福祉関係者による協議の場	障がいのある方の地域移行の推進に係る課題や手法など官民協働で協議することができている。

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

<p>短期目標 (今年度)</p>	<p>精神障がい者の地域生活を支える包括的な支援体制の構築</p>	
<p>スモール ステップ</p>	<p>新たな長期入院の防止・地域定着に向けた取組</p>	
<p>時期(月)</p>	<p>実施内容</p>	<p>具体的な取組</p>
<p>R6年6月</p>	<p>第1回地域移行支援部 会開催</p>	<p>官民協働で今年度取り組むべき活動について等協議を行った。</p>
<p>R6年8月</p>	<p>医療・福祉・高齢分野の 合同勉強会開催</p>	<p>事例検討を通し、各分野の連携、顔の見える関係づくりを行った。</p>
<p>R6年11月</p>	<p>第2回地域移行支援部 会開催</p>	<p>官民協働で今年度取り組んだ活動や課題について協議を行った。</p>
<p>R7年1月</p>	<p>ピア活動に関する勉強 会開催</p>	<p>静岡市内で働く支援者を対象とした「ピア活動」に関する勉強会を実施し、ピア活動、ピアサポーターについての普及啓発を図る。</p>